

## DNS キャッシュに登録される /etc/hosts

Linux と違って、Windows では /etc/hosts が必ず優先される。

実は、/etc/hosts の内容はリアルタイムにローカルマシンの DNS キャッシュに登録されるようになっている。しかも、/etc/hosts から登録されたエントリは、フラッシュされない。

その結果、/etc/hosts 内のエントリが名前解決において常に優先されるようになっている、という仕組みになっている。

ちなみに Linux では、「ローカルマシンの DNS キャッシュ」というもの自体が存在しない。

### multi on

もう一点、/etc/hosts の挙動は、Linux で言うところの "multi on" である。/etc/hosts 内の有効なエントリはすべて DNS キャッシュに登録される。また、DNS クライアントにはそのすべてが返される。

そのため、複数の IP アドレスがひとつのホスト名に対応しているようなエントリを書けば、簡易的なフェイルオーバーが実現できる。

Linux と同じく、この場合ラウンドロビンを実現できない。DNS クライアントは常に上のエントリから順にアクセスを試みるだけ。

現時点で、Linux の "reorder" のような挙動を行わせる方法は判明していない。